

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

平成29年9月実施

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○	○		基準に適合したスペースを確保していますが、利用者の状況に合わせて、備品等の設置場所を工夫しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			直接処遇職員として、看護師、保育士、作業療法士、言語聴覚士を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			全職員で支援目標を共有し、常に業務改善を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			H29年度に保護者アンケートを実施し、保護者の意向を把握したうえで業務改善を行いました。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開しました。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は行っていませんが、法人内に設置された苦情解決委員会で第三者委員のご意見をいただいています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内の内部研修（救急蘇生法、院内感染対策等）や外部研修（サービス管理責任者等現任者研修、障害児通所支援施設等研修、相談支援従事者専門コース別研修等）を活用しています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			年一回のアセスメントを行い、日々のケース記録に基づいて、職員全員で利用者の状況を協議し、個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			共通のアセスメントツールを使用し、その都度利用者の状況把握に努めています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムの立案は職員全員で行っています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎月の活動計画を基に、当日の利用者の状況に合わせて活動内容を工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			保護者の要望により、平日はリラックスのできる個別活動を取り入れ、長期休暇中はゲーム等集団で楽しめる活動を取り入れています。

適切な支援の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者ごとの医療的ケアをふまえた個別対応を基本として、個別活動及び集団活動を組み合わせた個別支援計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			事業開始前に当日の活動内容と個別課題について、全職員で確認を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終了後に作成する個人ケース記録をもとに、その日の気づきや改善策を職員全員で共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			個人ケース記録及び医療的ケアの実施状況の記録を徹底し、職員全員で情報共有し支援の検証に役立てています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			必ず半期に一度のモニタリングを行い、それに基づく計画の見直しにより、利用者の状況に応じた計画の変更を行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			利用者の状況に合わせて組み合わせ、支援を行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が出席しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			日々の送迎時には直接学校から利用者の情報を収集し連絡調整するとともに、必要な場合にはその都度学校を訪問して情報収集に努めています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			主治医から、利用者の健康状況や要注意事項を記載した健康管理表を年1回提出していただき、連絡体制を整えています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			現在の利用者全員が同一事業所内の児童発達支援センターの卒園者であり、情報共有などの連携は図られています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			実施しています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			事業所内の児童発達支援センター及び法人内の総合相談支援センターとは、常に連携が図られています。

保護者との連携	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	利用者は医療的ケアの必要な重症心身障害児であり、保護者の要望により休息を重視することから他の放課後児童クラブ等との交流は行っていません。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			事業所内の児童発達支援センターが周南市地域自立支援協議会教育部会に参加しています。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時の保護者に、直接家庭での様子をお聞きするとともに、利用日の状況をお伝えする事で、共通理解をしたうえで、把握された課題については個別支援計画に反映しています。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレントトレーニング等の特別な研修等は実施していません。送迎時にできるだけ保護者と話す機会を持つ中で、保護者の悩みや利用者の課題等を把握した場合は、随時個別面談を実施し、問題の共有及び助言等を行っています
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始前に、個別に重要事項説明書及び契約書の内容を説明しています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの相談内容については職員全員で共有し、支援内容を協議し反映しています。また、随時保護者との個別面談を実施し助言を行っています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	保護者の要望により、父母の会の活動はありません。このため、利用日に保護者同士の情報交換を行って頂けるよう支援しています。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			重要事項説明書に苦情受付の担当者、窓口、責任者、第三者委員、各市の受付機関等を記載して説明するとともに、事業所内にその内容を掲示しています。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか			○	定期的な会報は発行せず、送迎時に活動概要や連絡等を直接伝えるとともに、必要に応じて文書による情報提供を行っています。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報を含むファイルは施錠できる保管庫に保管し、使用するパソコンにはパスワードを設定しています。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用者の行動の前後の様子や保護者や学校から聞き取った日頃の様子との相違点に注意し、利用者の伝えたい事を汲み取るための工夫をしています。情報伝達方法については、利用者及び保護者がそれぞれに受け止め易い方法を職員全員で工夫しています。
③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			地域のボランティアを招いて、絵本の読み聞かせ、パネルシアター及びマジックショー等を行っています。	

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		緊急対応、感染症対策については策定したマニュアルを全職員で共有しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的に、火災、地震、土砂災害の避難訓練をそれぞれ実施しています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			利用者の処遇に際しては常に人権に配慮するとともに、虐待防止研修も行っています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			天井走行リフトの使用については、個別支援計画に記載し、事前に保護者に説明し了解を得ています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在の利用者に該当はありませんが、該当者がある場合には医師の指示書に従って対応します。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所内の事例については全職員で確認し、いつでも職場で供覧できるようにファイリングしています。